

# 選挙公報

役員選挙について

役員候補者の選挙公報を掲載します。

理事につきましては、立候補者が定数を超えたため、代議員の皆様におかれましては、投票期間内に投票をお願いいたします。

備考：この選挙公報は、候補者から登録された内容をそのまま掲載したものです。

	定数	立候補者数
理事	20 名	21 名
監事	2 名	2 名

選挙期間 2021年5月30日（日）12：00～6月13日（日）12：00

投票方法 インターネット投票

[URL:https://i-vote.jp.net/login](https://i-vote.jp.net/login)

2021年5月

一般社団法人 兵庫県理学療法士会  
選挙管理委員会

# 理事立候補者

定数：20 名

立候補者数：21 名

※投票は定数連記方式（20 票まで有効）となります

備考：この選挙公報は、立候補届出順に、  
候補者から登録された内容をそのまま掲載したものです



氏名 檀辻 雅広

年齢 58

勤務先名 川西市立川西病院

## 経歴

平成13年～16年 社団法人兵庫県理学療法士会 阪神南（西宮芦屋）ブロック委員  
平成16年～21年 社団法人兵庫県理学療法士会 阪神南（西宮芦屋）ブロック長  
平成25年～ 一般社団法人兵庫県理学療法士会 理事（学術担当）  
平成25年～ 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員

平成15年 第16回兵庫県理学療法士学会 学会長  
平成24年 第47回日本理学療法学会 演題管理部長  
平成27年 第55回近畿理学療法学会 学術局長

## 立候補の趣旨

兵庫県理学療法士会は、会員総数が五千名を超える非常に大きな組織になっています。この先もさらに増加する理学療法士の社会的な立場を堅固なものにするためには、士会員諸氏の資質向上と職域拡大が必須です。特に資質の向上は、リハビリテーション医学全般の幅広い知識と技術に裏付けされた高い質が要求されます。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大によって、それぞれの立場で大変な不安と緊張を持ってお仕事に当たられたと拝察します。しかしその中でも多くの会員の方々から研修会や講習会の開催の要望の声がありました。これからも私たちは、兵庫県理学療法士会会員の「学びを止めない」という強い意志をもって、新しい形での研修事業を押し進めなければなりません。また、同時に来年度より始まる新生涯学習制度の運用に向けての準備も必要です。この新生涯学習制度は前期研修・後期研修修了後に登録理学療法士となり、その後五年ごとに更新をしていきます。現在の生涯学習システムが大きく変更され、より充実した内容になるように策定されています。兵庫県理学療法士会では、この新生涯学習制度へ円滑に移行できるように研修体制を見直す必要があります。そのためには学術関連部の改編とともに、支部との連携を進めていかなければいけません。

私はこれまでの経験を活かし、士会員諸氏の学術研鑽活動をより推進するとともに、新生涯学習制度への円滑な移行を図りたいと考えています。ご支援を賜りますようお願い致します。



氏名 山本 克己

年齢 64

勤務先名 一般社団法人 兵庫県理学療法士会

## 経歴

兵庫県理学療法士会  
副会長・事務局長 平成27年度～ 現職  
常務理事 平成25年度～平成26年度  
理事 平成18年度～平成24年度  
保健福祉部長 平成11年度～平成17年度  
地域理学療法部・保健福祉部 部員 昭和61年度～平成10年度  
日本理学療法士協会 代議員 平成23年度～  
日本理学療法士協会士会組織強化委員会委員 平成29年度～令和元年度  
第47回日本理学療法学会 事務局長 平成24年度  
第25回兵庫県理学療法学会 大会長 平成25年度  
第55回近畿理学療法学会 副大会長 平成27年度

## 立候補の趣旨

現在、喫緊の課題として新型コロナウイルスに対する的確な影響の把握と素早い対応が求められており、それを踏まえて理学療法士は、地域包括ケアの確立をはじめとする、医療・介護・福祉の連携や、健康増進等の新たな分野の拡充、理学療法士数の急増における就業需給バランスの安定、教育環境の整備などを進めていく必要があります。

これらの諸課題の解決を図ろうとするとき、私たちは各分野で明確なビジョン、企画力、実行力が求められています。学術的・技術的な基礎水準の向上に裏付けられた社会的な地位の向上と、自らの生活を確保していくという至上命題を達成しつつ、理学療法士は一丸となって将来の展望を切り開いていかなければなりません。

兵庫県士会においても上記の課題に対して、即応できる効率的、機能的な組織づくり、運営体制を構築し、自治体と県士会での活動経験をもとに、会員の皆様と兵庫県士会がさらに高みを目指す活動をしていきますので、よろしくご支援をお願いいたします。



氏名 堤 万佐子

年齢 50

勤務先名 宝塚第一病院

## 経歴

### 学歴

平成7年3月 藍野医療技術専門学校 理学療法科卒業

平成31年3月 京都橘大学健康科学部心理学科卒業

### 職歴

平成7年4月 尚和会 宝塚第一病院 入職

平成13年11月 尚和会 介護老人保健施設ケアヴィラ伊丹 主任

平成15年7月 尚和会 宝塚第一病院 室長

平成20年4月 宝塚リハビリテーション病院 療法部長

令和2年6月 尚和会 宝塚第一病院 現在に至る

兵庫県理学療法士会および日本理学療法士協会役員歴

平成20年～26年度 阪神北ブロック長

平成27年～ 兵庫県理学療法士会理事 日本理学療法士会代議員 現在に至る

## 立候補の趣旨

兵庫県理学療法士会社会局を担当して6年が経ちます。私が担当しておりますのは機能部・災害対策支援部・スポーツ活動支援部・健康増進部です。コロナ社会情勢の不安の中ではありますが、地域包括ケアシステムや2040年人口減少に至る社会的な背景の中で私たち理学療法士が社会にむけて発信できることは多くあります。

兵庫県理学療法士会はブロックから支部への移行し、また日本理学療法士会も組織変革の時を迎え、私たちを取り巻く環境は昨今大きく変革しようとしています。

兵庫県理学療法士会と社会局運営が最良であるために、私の理学療法士としての経験とこれまでの人脈をいかし、会員にむけ継続したサービスと次世代育成に研鑽していく所存です。

兵庫県理学療法士会内をはじめ近畿ブロックの横断的な連携を強化し、会員に利益が還元されるように努力したいと思います。よろしく願いいたします。



氏名 小山 長

年齢 46

勤務先名 新須磨病院

## 経歴

2006年	兵庫県理学療法士会	神戸（西）ブロック	ブロック長
2007年	兵庫県理学療法士会	主催	第20回兵庫県理学療法士学会 準備委員長
2012年	日本理学療法士協会	主催	第47回日本理学療法学会（兵庫）学術編集 部 部長
2015年	近畿ブロック	主催	第55回近畿理学療法学会 広報・渉外局 局長
2015年	兵庫県理学療法士会		理事
2016年	日本理学療法士協会		代議員
2016年	兵庫県理学療法士会	主催	第28回兵庫県理学療法士学会 大会長
2017年	神戸市リハ職種地域支援協議会		副幹事長
2020年	兵庫県理学療法士会		ICT推進検討委員会 委員
2020年	近畿ブロック	主催	第61回近畿理学療法学会 運営局 局長

## 立候補の趣旨

私は平成27年より3期6年間、理事として支部活動を主な課題として取り組んでまいりました。現在の支部活動は、より地域に根ざした独自性のある活動が求められ、その業務内容は、年々複雑なものとなってきております。

特に昨年は新型コロナ感染拡大防止に向け、ICTを活用した支部活動を展開する必要があり、県士会と支部の綿密な連携の重要性を改めて痛感しました。このような中、支部活の発展を推し進めながらも、これに関わる支部長、運営委員の活動を簡略化し、負担を減らすシステムの浸透が必要であります。ICT・DX推進委員会を中心に検討されるソリューションの浸透を進めながら、各支部独自の活動をサポートし、地域包括ケアをはじめ、地域における支部活動の活性化や情報共有に向けた会員、施設間のネットワーク拡充、災害対策などの課題を進めていきたいと考えております。私は兵庫県理学療法士会の支部活動、地域活動、生涯学習の活性化、円滑化に関わり、会員の方々にとって充実した理学療法士業務の一助となることを目標に、理事に立候補致します。





氏名 正木 健一

年齢 52

勤務先名 介護ショップ蓮

## 経歴

【協会・学会・士会役員歴】  
平成13年度～平成30年度 保健福祉部員  
平成24年度～兵庫県理学療法士会 事務局財務部長  
平成30年度～日本理学療法士協会 代議員  
平成31年度（令和元年度）兵庫県理学療法士会事務局局長（財務担当）  
令和3年度 日本支援工学校理学療法学会 運営幹事

## 立候補の趣旨

私たち理学療法士は保健医療福祉の分野において、今困っている、そして将来困るであろう全ての人の身体・活動・参加のサポートを行う専門家です。それは行政・医療・介護・教育・スポーツ分野などにおいて、持ちうる職能を多様に発揮しその活動の場はさらなる広がりを見せています。

現在私は地域における生活支援のフィールドで、利用者の日常生活活動や家族や介護職の介護負担の軽減に当たっています。そこでは送り出す病院や通所訪問に係る理学療法士との連携が必須で、またその存在が利用者にとって大きな意味を成すことを肌で感じています。その効果をより高めるため、私たちはその知識と技術を向上するための研修機能の充実、職能内外の連携の強化を図る必要があります。そのため、兵庫県理学療法士会が会員の意見を細やかに吸い上げ、あらゆる情報をもとに、今何が必要でどう形作るのか検討し、実行する仕組みを作るのが理事と考えます。

私は平成13年から保健福祉部員、平成24年から財務部長（現財務担当局長）として士会運営に携わってきました。この経験を活かし、あらゆる分野で会員のみなさんがより一層活躍できるよう、私自身微力ではありますが取り組んでいきたいと考えて立候補いたしました。

何卒皆様のご支援をよろしくお願い致します。



氏名 間瀬 教史

年齢 55

勤務先名 甲南女子大学看護リハビリ  
テーション学部

## 経歴

兵庫県理学療法士会役員  
平成 7年～ 理事  
平成 25年～ 副会長  
日本理学療法士協会役員  
平成 27年～29年 理事  
平成 27年～29年 学会運営審議会審議員  
平成 28年～29年 臨床実習教育の手引き作成特別委員長  
平成 17年～ 代議員  
令和 2年～ 認定・専門理学療法士制度委員長

## 立候補の趣旨

医療・介護制度を含めて理学療法士を取り巻く社会が大きく変化していく中、訪問看護ステーションにおける人員配置基準の新設問題、コロナウイルス対策など、士会に求められる機能は増すばかりです。

また、日本理学療法士協会の役割の多くが県士会で行われるようになり、県士会の役割は大きく変わろうとしています。会員の研修や懇親をその活動の中心にしていた県士会は、職能・政治活動にまでその活動を広げ、士会活動の中核の一つになっています。協会が進める新たな生涯学習プログラムも県士会のなす役割が大きくなると予想されます。そのような役割をはたすためには、日本理学療法士協会と各士会は、今まで以上に強い連携機能を持つ必要があると思います。

私は現在まで県士会のみならず日本理学療法士協会の役職も努めてまいりました。その経験をふまえ、上記した多くの課題に継続的に積極的に取り組める県士会組織、戦える組織づくりをしていきたいと考え理事に立候補いたしました。どうぞよろしくお願い致します。





氏名 永嶋 道浩

年齢 55

勤務先名 市立伊丹病院

## 経歴

1997年4月～2001年3月 : 兵庫県理学療法士会 東阪神ブロック長  
2009年4月～ : 兵庫県理学療法士会 健康増進部 部員 (現在は協力員)  
2010年4月～2019年3月 : 兵庫県理学療法士会 選挙管理委員長  
2019年4月～ : 兵庫県理学療法士会 局長 (学術担当)  
2020年度～ : 日本理学療法士協会 代議員

## 立候補の趣旨

この度、兵庫県士会の理事に立候補させていただきます、永嶋道浩と申します。  
兵庫に生まれ、兵庫で育ち、兵庫の理学療法士養成校を卒業しました。現在まで、一度も兵庫県以外での在住・在勤経験の無い、生粋の兵庫県人です。  
古くは、東阪神ブロック長から始まり、健康増進部員、選挙管理委員長を務めさせていただき、2年前からは局長 (学術担当) を拝命し、微力ではありますが、兵庫県士会活動に尽力して参りました。  
今、世の中は予想だにしない状況が続いております。皆様の日常業務においても、経験したことの無い対応に迫られる事が、多々あると思います。こんな時こそ、兵庫県士会員の皆が一丸となり、力を合わせて乗り切る事が重要だと思っております。そして、その先頭に立って力を尽くすのが理事の使命だと思っております。  
これまでの士会活動の経験を活かし、会員の皆様の明るい未来に向けて、最大限の努力をすることを約束いたします。  
どうかご支援の程、宜しくお願い申し上げます。



氏名 沖山 努

年齢 61

勤務先名 神戸リハビリテーション病院

## 経歴

士会活動  
平成5年～7年 資料調査部長  
平成7年～現在 理事  
平成15年～25年 事務局長  
平成16年～現在 副会長

協会活動  
平成9年～現在 代議員

## 立候補の趣旨

現在、士会は以下の2つの理由により、大きな変革期にあると思います。  
まず、国が推進する「地域包括ケアシステムの構築」に対し、理学療法士への期待が一段と高くなっている、という事です。地域包括ケアシステムを構築するうえで、県内の2次医療圏域を中心に整備された11ある支部機能の充実が不可欠になります。これまで士会全体として取り組んできた様々な活動を支部に移管し、それぞれの地域の特性に合った展開が求められています。しかし、広大な兵庫県では支部の構成人員も異なり、一応な活動は難しいかもしれません。そのため、より支部活動に予算を割くだけでなく、活動をサポートするシステムの充実を図ります。

次に、若い階層を中心に士会離れの進む恐れがある、という事が挙げられます。会から離れる理由として、「士会活動にメリットを感じない」という意見もあり、このことは組織率の低下に直結する大きな問題です。多くの会員の皆さまに魅力を感じていただける士会活動の一つとして、若い会員が望まれていると思われる理学療法士としてのスキルに関する研修を充実させたいと考えています。コロナ禍での技術研修には様々な制約がありますが、士会としてディスタンスや手洗い、換気といった標準予防策となるマニュアルを策定し、是非実施していきたいと考えます。

以上の公約を実現させるため、この度、再度理事に立候補いたしました。

代議員の皆さまの温かいご支援を、心からお願いいたします。



氏名 小森 昌彦

年齢 54

勤務先名 兵庫県但馬県民局但馬長寿の郷

## 経歴

昭和62年 兵庫県立加古川病院勤務  
平成10年 兵庫県立但馬長寿の郷勤務  
平成25年度 日本理学療法士協会 グランドデザイン検討特別委員会 委員  
平成26年度 日本理学療法士協会 地域ケア会議推進リーダー養成ワーキンググループ  
平成26年・30年度 日本理学療法士協会 地域包括ケア推進リーダー養成ワーキンググループ

## 立候補の趣旨

地域包括ケアシステムの構築に伴い理学療法士の働き方にも変化が求められています。同じように、兵庫県理学療法士会（県士会）についても、時代の流れを見据えた会の運営が必要とされています。  
これからの県士会の運営を見据えると、医療、介護、教育に加えて「行政（地域ケア）」の経験を持った人材も必要になると考えます。  
そこで、微力ではありますが、20年以上行政機関に所属し、地域ケアに関わってきた経験を今後の県士会の発展のために役立てたいと考えています。



氏名 本田 明広

年齢 58

勤務先名 神戸市立医療センター中央市民病院

## 経歴

### 【経歴】

1984年3月 行岡医療技術専門学校 リハビリテーション科卒業  
1984年4月 (旧)神戸市立中央市民病院 奉職  
2001年9月 神戸市立医療センター西市民病院異動  
2013年4月 同リハビリテーション技術部 技師長就任  
2019年4月 神戸市立医療センター中央市民病院  
リハビリテーション技術部技師長異動就任

2008年～2017年 近畿・兵庫地域 JBITA認定地域研修協力員  
現在 兵庫ボース研究会成人部門世話役 月1回の実技勉強会 主催  
2021年4月～ 兵庫県理学療法士会 感染対策委員会委員

## 立候補の趣旨

この度、兵庫県理学療法士会の役員選挙に立候補するにあたり、以下の実現に尽力する事を約束します。

- ①支部（2次保健医療圏域）活動の活性化
- ②医療・介護・福祉の連携強化
- ③士会員個々の生涯学習の支援
- ④士会財務の適正化と透明化

新型コロナウイルスの感染拡大で地域の連携と情報共有がいかに大切かを学びました。医療から介護、福祉が一繋がりにならないと地域住人の命と生活は守れません。そのために支部の活動支援をより強固にしてゆきます。一方で人材育成の比重が卒後へもシフトするなかで支部と本部の役割分担が必要です。より計画的で継続的な講演会や研修会を企画運営出来る体制を構築してゆきます。私は特に感染教育、情意教育にも力を注ぎます。地域包括ケアシステムを政治からではなく自ら構築してゆくことができる骨太な組織づくり、誇りと責任を持った人材育成で広く県民を支える組織づくりを目指します。



氏名 樋笠 重和

年齢 47

勤務先名 大原病院

## 経歴

2012年6月－2014年3月 兵庫県理学療法士会阪神南（尼崎）支部運営委員  
2014年4月－2019年3月 兵庫県理学療法士会阪神南（尼崎）支部ブロック長  
2019年4月－2020年3月 兵庫県理学療法士会阪神南（尼崎）支部支部長  
2020年4月－現在 兵庫県理学療法士会支部運営審議会局長  
2020年4月－現在 日本理学療法士協会代議員

## 立候補の趣旨

この度、兵庫県理学療法士会理事に立候補致します樋笠重和と申します。  
私は支部運営委員として士会活動に携わり、ブロック長、支部長として6年、現在は支部運営審議会局長として士会運営に携わっております。  
ブロック長、支部長を務めていた時には地域での理学療法士の活躍を念頭に、地域包括システムの構築に努めて参りました。昨年度からは支部長経験を活かし、支部担当理事とともに支部運営を支援しております。  
これまでの士会活動の経験を活かし、会員各位、地域、兵庫県理学療法士会が双方向のつながりを持って、前進できるよう理事として士会運営に携わらせていただきたく存じます。皆さま、どうぞよろしく願いいたします。





氏名 伊藤 弘

年齢 51

勤務先名 訪問看護ステーションリ・ホーム

## 経歴

兵庫県理学療法士会役員歴	
平成5年度～平成10年度	厚生部部員
平成11年度～平成12年度	東神戸ブロック ブロック長
平成13年度～平成15年度	神戸（東）ブロック ブロック長
平成17年	第18回兵庫県理学療法士学会 学会長
平成27年度～現在	職能部 部長
令和1年度～現在	職能担当 局長
令和2年度～現在	日本理学療法士協会 代議員

## 立候補の趣旨

現在、私たち理学療法士をとりまく現状は大きく変化しています。職能団体としての目的もこの変化に対応していかなければいけません。すべての会員が安定した制度の下、理学療法士という職業を安心して、生涯満足して就くことが出来る職業とするために、兵庫県理学療法士会も一致結束して行動することが必要です。理学療法士の職域を守り、さらに活躍できるフィールドを広げ適正に評価されるよう、またこれからも永く国民の皆様から期待される職業であり続けられるよう、微力ながら尽力させていただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。





氏名 中川 心みよ

年齢 52

勤務先名 明和病院

## 経歴

平成13年～15年 阪神南（芦屋・西宮）ブロック長  
平成20年～平成30年度 システム管理部部長  
平成23年度～平成24年度 兵庫県理学療法士会 局長  
平成25年度～令和2年度 兵庫県理学療法士会 理事

## 立候補の趣旨

1年と数か月前までは日本の理学療法の世界では2025年問題や地域包括ケアシステムなどが大きな話題となっていました。しかし、その前に感染症（新型コロナ）で現在のよう状況になるとは誰も考えてもみなかったことと思います。このような状況を災害と呼ぶ人もいます。思い起こせば、阪神淡路大震災の時に理学療法士はボランティアで避難所の訪問などを行いました。中心になったのは、各地域で中核となる病院に勤めていた理学療法士の方々でした。20数年経過した今回は県士会が中心となり、情報の収集・発信を行っております。会員からの要望も県士会に寄せられており、職能団体として存在感が増していると実感しています。長期的な未来を見据えた活動はもちろんですが、緊急事態に対応するためにも職能団体は重要であると改めて感じています。

私は今まで事務局を担当させていただきました。会員の方に安心して活動して頂くため、活動を充実させていくために事務機能を安定させることを大事と考えて職務に当たってまいりました。

これからも県士会の発展のために、微力ではありますがお手伝いさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 山口 良太

年齢 41

勤務先名 (株) アールイーコンセプト

## 経歴

### 【学歴】

神戸大学医学部保健学科理学療法学専攻 卒業  
神戸大学大学院保健学研究科 博士後期課程 修了（（博士）保健学）

### 【協会活動】

- ・公益社団法人日本理学療法士協会 代議員（2018年～）
- ・一般社団法人兵庫県理学療法士会 理事（2017年～）  
兼任（理学療法講習部長、感染対策委員、ICT推進検討委員）

## 立候補の趣旨

コロナ禍によって県土会事業の多くが活動できない状態になった2020年。ビデオ会議ツールの活用を基盤とした各種講習会の運営方法の体系化は、この1年で大きく前進させることができました。さらに、チャットツールを活用した連携も浸透してきており、急性期から生活期における連携の機動力が大幅に増強されました。また、副次的に費用抑制や活動時間の有効活用が促進されました。これほどの変革がこの1年の間に進んできた背景には20～30代の多くの若手会員の創意工夫と行動力、そして、その変革を許容していただいた先輩方の寛容なお心遣いによるものと感じています。これは世代による分断論を意味しているのではありません。会員の年齢構成の変化がようやくカタチになってきたものであり、今後はより一層、次世代を担う世代の力が必要となります。

今後もコロナ禍への対応が最優先課題となりますが、私は前任期中から引き続き、県土会事業のあらゆる分野においてDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進していきたいと考えています。さらに、コロナ世代といわれる新卒療法士の卒後教育への対応のみならず、急性期から生活期における卒後臨床教育システム（レジデント制度）の構築を視野に、県土会と各機関が連携できるシステムを検討していきたいと考えています。私自身、すでに土会員の平均年齢を大幅に上回ってしまいましたが、先輩方の功績を次世代に繋ぐ役割として、若い会員の皆様と新しい時代を創る仕事をさせていただきたいと思い、3期目の理事選に立候補いたします。



氏名 有吉 智一

年齢 48

勤務先名 石川病院

## 経歴

2012. 4月～2014. 3月	中播磨ブロック運営委員
2014. 4月～2018. 3月	中播磨ブロック長
2018. 4月～2019. 3月	中播磨支部長
2019. 10月～	支部局局長
2020. 1月～	管理者ネットワーク中播磨支部世話人
2020. 4月～	日本理学療法士協会代議員

## 立候補の趣旨

この度、兵庫県理学療法士会理事に立候補致しました有吉智一と申します。2014年から2019年まで中播磨ブロック・支部長、そして、2019年から支部局の局長として、支部のサポートを行ってまいりました。昨年度はCOVID-19の影響で今まで当たり前に行っていた支部活動が行えなくなる事態となりました。新人発表会の開催についても、開催が危ぶまれましたが、Webを用いた方法を利用して開催することができました。今年度は、感染対策を継続しつつ、新生涯学習制度に移行する準備や高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の支部の関わりなど活動が多岐にわたります。また、今年度、支部制度となって、3年目を迎えます。ブロックから支部となって何が変わったのかを検討していきながら、さらに深化することが大切であると考えています。私は中播磨支部で活動をしてきた経験から、支部活動の支援ができると考えております。そして、支部活動を高めていくことは兵庫県理学療法士会の更なる組織力強化につながるものと考えており、この活動を通じて、兵庫県理学療法士会に貢献し、地域社会の発展に繋がればと考えております。何卒皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。



氏名 清原 直幸

年齢 43

勤務先名 神戸マリナーズ厚生会病院

## 経歴

### 職歴

2008年 西宮協立脳神経外科病院 入職  
2010年 神戸マリナーズ厚生会病院 入職

### 県士会役員歴

2011年 神戸（東）ブロック 運営委員  
2014年 神戸（東）ブロック ブロック長  
2018年 神戸（東）支部 支部長  
2020年 神戸（東）支部 代議員

## 立候補の趣旨

私は約10年間、運営委員、ブロック長、支部長、代議員として地域に根付いた形で今日まで活動してきました。その中で励ましの言葉をいただくこともあれば、厳しい言葉をいただくこともあり、県士会員の皆様の声を十分に支部活動等に反映できなかったことも多かったのではないかと痛感しております。特に昨年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で十分な支部活動ができず、皆様にもご迷惑をおかけした部分も多かったと思います。

このような状況の中で、皆様の期待に沿えるような県士会活動や支部活動をおこなっていくためには、今まで以上に皆様の声を集約し、反映させていくことが重要になると考えます。特に若い会員の方の意見を反映することで、これからの未来を担う理学療法士としての皆様のサポートができるのではないかと考えます。

会員数増加と就職先の多様化が進む中で、県士会員の皆様の縦と横のつながりを強化していくことで、様々な分野での地域のリハビリテーション連携を構築できるような働きができるよう取り組んでいきたいと思っております。



氏名 岩田 健太郎

年齢 43

勤務先名 神戸市立医療センター中央市民病院

## 経歴

### 学歴

2001年7月 金沢大学医学部保健学科卒  
2018年3月 神戸大学大学院博士前期課程卒  
2018年4月 神戸大学大学院博士後期課程

### 職歴

2002年4月 金沢社会保険病院 介護老人保健施設  
2002年9月 金沢社会保険病院 リハビリテーション科  
2005年1月 神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部  
2014年4月 兵庫県士会 卒後教育部  
2017年4月 日本理学療法士協会 管理運営部門運営幹事  
2018年4月 日本集中治療医学会 P T O T S T 委員会委員

## 立候補の趣旨

兵庫県理学療法士会の改革を推進し以下の3つのことを実現するために役員選挙に立候補いたします。

- ① 県士会費の負担軽減【目標は半額】
- ② いつでもどこでも学べる卒後研修システムの構築
- ③ 権限と財源の支部への移譲 ～会員の声により反映されるために

若手理学療法士が多い今こそ、広く県内で人材育成に力を入れることで、顔の見える関係や地域包括ケアシステム構築に向けた理解が深まると考えます。そのためにも、生涯学習が続けられるように、全ての会員が県内各地で開催される講演会や研修会、学会などの事業に費用負担を軽減したうえ（目標は無料）で参加できる体制づくりを士会に提案いたします。理学療法の実践を支えてくださった諸先輩の経験に加えて、多くの若手の意見が士会活動に反映されるよう活動をさせて頂きたく存じます。最後になりましたが、皆様のご理解とご協力をお願いできれば幸いです。





氏名 片岡 紳一郎

年齢 45

勤務先名 神戸市民病院機構  
神戸市立西神戸医療センター

## 経歴

### 【士会社会活動】

- ・大阪府理学療法士会 学術局生涯学習部（2008～2011年）
- ・兵庫県理学療法士会 支部運営委員（2014年～）
- ・兵庫県理学療法士会 管理者ネットワーク支部世話人（2019年～）
- ・兵庫県理学療法士会 卒前教育部研修会講師（2018年～）
- ・臨床実習指導者講習会 都道府県講習会講師&ファシリテーター（2019年～）
- ・第30回兵庫県理学療法学会 準備委員会委員（2018～2019年）
- ・第61回近畿理学療法学会 準備委員会委員（2020年～）

### 【資格（教育・管理）】

- ・日本理学療法士協会 認定理学療法士（臨床教育）
- ・日本理学療法士協会 認定理学療法士（管理・運営）
- ・日本理学療法士協会 協会指定管理者（上級）
- ・厚生労働省及び医療研修推進財団 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設  
教員等講習会課程修了

## 立候補の趣旨

私は、これまで臨床現場での教育・管理（実習指導・部署内教育・部署管理）、養成校（専門・大学）専任教員・非常勤講師、都道府県士会での社会活動等の経験を通じて様々な立場・視点から理学療法士の教育活動（卒前・卒後）に携わってまいりました。

今まさに理学療法士の教育活動は大きな変革期を迎えており、卒前教育分野では約20年ぶりに指定規則改正が行われ、卒後教育分野では来年度より新生涯学習システムへの移行となり、昨今ではコロナ禍の影響より教育活動形態の模索対応が迫られております。

今後、卒前卒後教育体制の構築・連携・充実は益々求められており、会員の皆様からの声に耳を傾けながら、分かり易い情報発信・共有から協会・士会・養成校・施設・士会員の連携・活動・体制構築のサポートを推進していくことが重要と考えております。

微力ではございますが、今までの経験を元に少しでも兵庫県理学療法士会活動に貢献したいと思っておりますので、皆様のご支援賜りますようお願い申し上げます。





氏名 木澤 清行

年齢 44

勤務先名 (株) Steps

## 経歴

2003年～2013年 一般社団法人兵庫県理学療法士会神戸（東）ブロック長  
2014年～2015年 一般社団法人兵庫県理学療法士会卒後教育部部長  
2016年～2018年 一般社団法人兵庫県理学療法士会総務部長  
2019年～現在 一般社団法人兵庫県理学療法士会 理事

## 立候補の趣旨

2019年より理事となり2年の間、兵庫県理学療法士会に携わる運営委員の負担軽減を目標に様々な改革を実施してきました。2019年度よりWEB会議システムの導入を推進し、よきせぬ感染症の後押しもあり全ての会議がweb会議に移行できるようになりました。2020年度はICT推進検討委員会を立ち上げ、ICTを推進する上での問題点を確認し、2021年度よりICT・DX推進委員会として組織再編し、士会業務をデジタルトランスフォーメーションできるように準備しております。今後は、研修業務・会計業務・広報業務・情報共有を中心にさらに業務移行を加速できればと考えております。また、COVID-19の感染拡大が進む今、『理学療法士として何ができるのか?』、『何をすべきなのか?』を感染対策委員会で議論し、post COVID-19も見据え、急性期・回復期・生活期の施設が連携を強化できるよう仕組みを構築したいと考えております。



氏名 成田 孝富

年齢 49

勤務先名 西宮協立リハビリテーション  
病院

## 経歴

### 協会・士会活動

1999～2001年 社団法人日本理学療法士協会 診療報酬部 部員  
2017年 一般社団法人兵庫県理学療法士会 理学療法講習部 部員  
2018年6月 第30回兵庫県理学療法学会 大会長  
2019年～ 公益社団法人日本理学療法士協会 理学療法標準評価作成委員会 委員

## 立候補の趣旨

他の医療・介護職団体と連携強化を図るためには、組織力を高めることが急務です。  
また、組織力を高めるためには、その組織に属する個人の能力を高める必要があります。  
士会は、これらを実現しようと活動し続けています。  
この度、微力ながら私も士会の活動に尽力したいと思い、立候補いたしました。  
何卒よろしく願い申し上げます。



氏名 前川 健一郎

年齢 36

勤務先名 神戸リハビリテーション病院

## 経歴

<資格>	平成19年4月	理学療法士免許取得
	平成27年11月	回復期リハビリ病棟協会 回復期セラピストマネジャー
	平成30年4月	認定理学療法士(脳卒中)
	令和3年2月	日本臨床栄養代謝学会(JSPEN) NST専門療法士
	令和3年2月	協会指定管理者(上級)
	令和3年3月	フレイル対策推進マネジャー
<県士会活動>	平成19年4月～平成22年3月	兵庫県理学療法士会総務部部員
	平成26年2月～令和3年3月	兵庫県理学療法士会広報部部長
	平成31年7月～	兵庫県理学療法士会理事

## 立候補の趣旨

前回の県士会役員選挙にて理事を拝命し、それまで行っていた広報部の活動とともに、日々多くのことを学ばせていただいております。県士会の理事会や協会代議員として触れる膨大な情報量に圧倒されましたが、参加をする中で自分の役割を少しでも果たせるよう努めてきました。その中で現場の熱心な活動も拝見させていただくことができ、この下支えがあってこそ県士会の組織が成り立っているのを改めて感じることができました。昨年度からはCOVID-19感染対策委員会、ICT-DX委員会にも加えていただき、未だ終息の見えない非常時に理学療法士に何ができるのかを考えさせられる中で、少しでも士会員にとって役立つように微力ながらお手伝いさせていただいております。また、他団体との対外的な業務も経験させていただき、多職種との関係性を深めていくことや理学療法士としての発信をしていくことにまだまだ課題があると思案しており、さまざまな意見の反映や士会からの発信がされるしくみを整える必要があると感じております。これまでの県士会の歴史の中で築いてきた先輩理学療法士の功績を引き継ぎつつ、新たな士会員にとってのメリットを生み出すように、引き続き県士会の組織と会員の皆様、加えて会員同士の橋渡しとなれるよう努力をしていきます。まだまだ未熟者ですが、ご指導とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

# 監事立候補者

定数：2名

立候補者数：2名

備考：この選挙公報は、立候補届出順に、  
候補者から登録された内容をそのまま掲載したものです



氏名 鮫島 一雄

年齢 65

勤務先名 神戸総合医療専門学校

## 経歴

### 役員歴

平成9年～平成15年  
平成16年～平成27年  
平成22年～令和2年  
平成27年～現在に至る

兵庫県理学療法士会  
兵庫県理学療法士会  
日本理学療法士協会  
兵庫県理学療法士会

選挙管理委員長  
局長・理事  
代議員  
監事

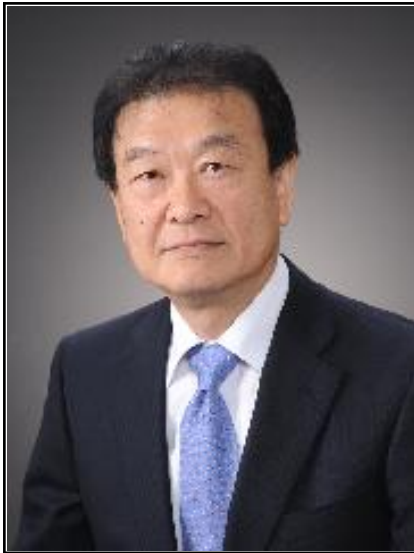
## 立候補の趣旨

私は、兵庫県理学療法士会監事を3期6年間努めてきました。  
その間、本会では支部の体制変更・代議員制の導入が行われ、組織の機動力・実行力が強化されたと思います。このような組織改編は一般会員の意見を広く反映できるという良い面がある一方で、一般会員に行き渡る情報が不十分になる危険性もあります。

私は監事として、以下の2点について見守ってまいりたいと考えております。

1. 予算が会員に対して適切に執行されているかどうか。
2. 部・支部・委員会等の意義・役割・活動内容等について、各担当者が会員に対し積極的な広報を行っているかどうか。

引き続き監事の立場から本会の活動および業務の執行を微力ですが援助していくため、今回立候補させていただきました。  
皆様がたのご賛同とご支援をお願い申し上げます。



氏名 岩井 信彦

年齢 64

勤務先名 神戸学院大学総合リハビリテーション学部

## 経歴

1993年 県PT士会：西播ブロック長（1996年まで）  
1997年 県PT士会：理事（現在に至る）  
2004年 県PT士会：副会長（2014年まで）  
2005年 日本PT協会：代議員（現在に至る）  
2015年 県PT士会：会長（現在に至る）  
2018年 日本PT協会：常勤役員要件審査委員会委員（現在に至る）

## 立候補の趣旨

日本理学療法士協会は都道府県理学療法士会との機能分化を明確にし、均一なマネジメントを確立するため、都道府県理学療法士会が日本理学療法士協会の会員となる法人会員の設置を推進しています。また、日本理学療法士学会においても現在12ある分科学会を社団法人化し、8つの部門を研究会へ移行させようとしています。このような大きな動きを睨みながら、兵庫県理学療法士会も時代の要請と県民のニーズを的確にくみ取り、組織変革を実行していかなければなりません。そして県民に良好な理学療法を提供し続けていくべきでしょう。

私は、昨年度まで兵庫県理学療法士会の会長として士会活動に携わらせて頂きました。その責務を後進に託し、本年度からは監事として異なった角度から本会の活動を支えていきたいと思っています。よろしくお願い致します。